



平成28年度
留学生ホームステイ
思い出の文集

公益財団法人 新潟市国際交流協会

日 程 表

☆7月23日（土曜日）

場所：クロスパルにいがた

午後1時 対面式、諸連絡、記念撮影

午後1時30分 各ご家庭へ

☆7月24日（日曜日）

午後3時 各ご家庭にて解散

★17家庭24人の留学生（5カ国1地域）で行いました。

当事業「留学生のためのホームステイ」は、新潟市在住、在学の大学・専門学校の留学生を対象に1泊2日で、日本の家庭生活を体験してもらい、また受け入れ家庭では、国際交流のきっかけ作りが出来ればという主旨で行っております。

インドネシア：ニアル アルティカ プラタミ

最初はホストファミリーがどんな人か、まだわかりませんから、ちょっと不安でした。けど、そんな不安はすぐなくなり、とても楽しい時間を過ごすことができました。ホストファミリーはすごく優しく、クロスパルでむかえてくれました。それから、イオンモールというデパートへ行きました。あそこで、家族と一緒に遊んだり、プリクラで写真を撮ったり、晩ご飯のための食材を買いました。

家へ帰ったら、一緒に料理を作りました。晩ご飯を食べ終わってから、家の前で子どもたちと花火をしました。寝る前に子どもたちは私の顔の絵を描いてくれました。とても上手でした。

次の日、お母さんと朝ご飯を準備しました。朝ご飯を食べたら、子どもたちとお母さんと一緒に遊んだり、スイカとせんべいを食べたり、いろいろな日本語の言葉を教えてもらいました。

午前 10 時半になってから、家族と映画館でファインディングドリーという映画を見ました。それから、アピタというデパートでラーメンを食べて、いくとぴあ食花へ行きました。いくとぴあ食花は子どもに本当にいいところと思って、いろいろな事を学ぶことができました。

午後 3 時になってから、家族はアパートに連れて行ってくれました。帰る前に子どもたちは私に、「ニアルさんが大好き」と言いました。本当に嬉しくて、忘れられない事でした。

とても短い時間だったけど、その短時間の中でいろいろな事を学びました。家族と話すのに何度も聞き直す事があったので、前より日本語を話せるようになりたいと思います。このプログラムに参加出来て、本当に良かったです。



中国：何 慕晓 (か ぼぎょう)

(訳文)

二日間のホームステイは短いと思いましたが、日本の家庭生活についての理解や家庭の暖かさを味わうことができ、普段の留学生活にない、充実した時間を過ごせました。

一日目は、お昼に釜飯を食べ、イオンでUFOキャッチャーやプリクラをして、とても楽しかったです。

でも、夜はもっと最高でした。手作り料理を持ち寄り、近所の友人家族と一緒にバーベキューをしました。

夕食後は、花火。幼い時よく遊んだので、とても懐かしかったです。

花火の後は、子どもたちと一緒に日本のゲームをしたり、中国の「鬼ごっこ」をしました。子どもたちが「鬼ごっこ」を気に入ってくれ、もっと遊びたいと言ってくれました。

また、3軒の友達の家にもまれた大きな庭もとても素敵でした。

翌日は、新潟と福島の間にある、もう一軒の家に行きました。古いですが、とても風情有あり、すてきな家です。その後、狐の嫁入り屋敷に行きました。

家では、壁に家族の写真や子どもたちの書いた絵を飾ったりと家中愛情に溢れていて、親が子どもの成長に常に寄り添っていると感じ、すごく感銘を受けました。

また、子どもたちは、車に乗った時、私たちに『シートベルトを締めてください。』と言ったり、お母さんに自転車の人はどうして歩道を走っているのか尋ねていて、小さい時からマナー教育を受けていると感心しました。

この二日間たくさんの経験をし、とても楽しかったです。特に一日目の夜、たくさんの人が集まり、一緒に食べたり、遊んだり、とても面白かったです。そして、皆さんがとても親切にしてくれました。

日本語と中国語を教え合ったり、こんな光景が本当に素晴らしいと思いました。

別れる時、二日間しか会ってない外国人の私たちに対し、とても名残惜しんでくれました。本当に感激しました。

人と人のつながりや感情は国籍に関係なく、もっとシンプルで簡単なものだと思います。



ベトナム：チャン ティ ライン

こんにちは。私はチャンティラインともうします。去年の10月にベトナムからまいりました。日本に来て10カ月になりました。

私の幸運はホームステイに参加することができました。私は先生にホームステイ先は、6人家族ですと連絡すると、先生はとても心配しました。私の日本語が下手だからです。

ご家族には祖父母と夫婦と子どもが2人います。初めて日本のご家庭へ行くので、いろいろなことをとても心配しました。習慣とか、食べ方とか。

娘さんが迎えに来てくれました。娘さんは同世代です。いっしょにベトナムの料理の材料を買いました。ご家庭に着き、みなさんに挨拶をして、お土産をあげたあとで、みんなでいっしょにベトナムの料理を作りました。楽しかったです。みんなでいっしょに作った料理は“チャー”といいます。美味しかったですよ。

ご家族に日本の料理をたくさん食べさせてもらいました。日本料理もとても美味しかったです。

お父さんと妹さんは仕事があるので、家にいませんでした。少し残念でした。でも、家にいなくても、お父さんが電話してくれました。うれしかったです。

晩ご飯を食べたあとで、ご家族にプレゼントをたくさんもらいました。お祖父さんは、自分の年の絵馬を作ってくれました。ご家族といっしょにすごしていると、家族を思い出すようになりました。とても嬉しかったです。みなさんと写真を撮りました。

娘さんがベトナム語を習いたがっているといっていました。ですから、教えてあげました。

二日目は、娘さんといっしょにマリンピア日本海へ行きました。マリンピア日本海にはいろいろな魚がいます。とてもきれいでした。その時は食べ物を買ってもらったり、私は飲み物を買ってあげたりしました。

私は部屋へ帰ってから、みんなにメールでありがとうございましたと、おくりました。

ホームステイに参加できたので、日本語を少し話すようになりました。

みなさん、ぜひホームステイへ行ってみてください。

どうもありがとうございました。



韓国：キム ダソル

(訳文)

7月23日、24日、日本人の家庭でホームステイをすることになった。私は韓国人の友人と一緒に行く予定だったが、初めてのホームステイだったので、行く前はすごくドキドキした。

お土産も買った。

家に行く前、夕食のバーベキューパーティのための買い物をした。お菓子や日本で有名なお酒も買ってもらい、とても楽しみだった。

家に着いたけど、子どもたちはまだ帰っていなかった。小学生の子どもがいると聞いていたので、幼い子どもとどう付き合えばいいのかと思っていた。でも、食卓には子どもたちが、韓国語で‘ようこそ’と書いた歓迎のメモが置いてあり、感動した。韓国人の私たちのためにわざわざ韓国語を調べて書いてくれたのだ。

お母さんとお茶を飲みながらおしゃべりをしていたら子どもたちが帰ってきた。最初はお互い照れていたけど一緒にカードゲームやテレビを見ながら親しくなっていた。いよいよ晩御飯の時間になった。

家の中にバーベキューができる場所があり、そこで食べた。お父さんが肉を焼いてくれたからなのか、もっとおいしく感じた。家でバーベキューをしたことがなかったから不思議で楽しい経験だった。買ってもらった梅酒も、(中に入っていた梅はとても酸っぱくて苦かったけど、)すごくおいしかった。いろいろと話していたら日が暮れた。

食後は、バーベキューをした場所で花火をした。お母さんが用意してくれていたそう。本当に楽しかった。忘れられない思い出をたくさん作ってもらった。そうやって一日目が終わっ

た。

次の日は、早起きをして朝ごはんを食べた。日本に来てちゃんとした朝ごはんを食べたことがなかったからとても幸せだった。トマト、焼き鮭、味噌汁、白ごはん、明太子…。

お父さんとお母さんが一緒に朝ごはんを作る姿を見て、仲睦まじい家庭だと思った。

朝ごはんのあと、みんなで温泉に行った。温泉に行くのは初めてで、期待した。足湯があった。温泉は思った通りすごく良かった。冬に来たらもっといいかなと思った。

温泉の後、子どもたちの小学校で祭りが行われる日だったので、お母さんと見に行った。子どもたちが自分の力で祭りの準備をしている姿を見て、韓国の小学校もこんな文化を学ぶべきだと思った。かき氷を食べながら楽しんでいたら、いつの間にか別れの時間になった。

長いようで短い一泊二日、本当の家族みたいに私たちに接してくれた家族に感謝だ。『また来たいなら連絡してね。』って言われた。機会があったらもう一度行きたい。お互いに良い思い出ができたようで本当に良かった。忘れられない経験だ。



韓国：張 賢娜 (ジャン ヒョナ)

(訳文)

日本に交換留学で来日し、友人もできはじめ、少しずつ慣れてきた頃、ホームステイの募集を知り申込みました。

日本人は家庭ではどんな生活し、どのような週末を過ごしているのか気になっていて、日本の家族と一緒に過ごせる唯一の機会だと思いました。この機会は逃したくない、でも応募も多く、落ちるのではないかと心配しました。抽選に当たった時、心臓がドキドキしました。

ホームステイの期間と試験が、かぶっていたので、楽しめるか少し心配しましたが、一度だけの機会だと思い、楽しくホームステイをするために、前もって試験勉強をしておきました。

ホームステイの前日は、送られてきた資料を入念に読みました。日本の家庭に行くのは初めてだから、最初家に入る時にどんな挨拶をすればいいのか、トイレに行きたいときはどう言えばいいのかなど、不安でいっぱいでしたが、細かく書いてあったので、とても役に立ち、不安もなくなりました。荷物を詰めて楽しい想像をしながら眠りました。

当日の朝は、早めに出発しました。家族へのお土産を買い、電車に乗り、次はバスに乗りました。なのに…バス停を乗り過ごし、遅れてしまいました。家族に申し訳なかったです。早く出発したので道に迷っても遅れることはないだろうと思っていたから、最初から大きな失敗をしてしまったようで心配でした。しかし『バスを乗り過ごしました。』とお母さんに説明したら暖かく微笑みながら、『頑張ったね、大丈夫だから』と言ってくれました。

家は、田園が多く、近くに山が見え、空気もよく、気持ちの良い場所でした。挨拶をして家に入りました。穏やかで静かで綺麗な家でした。韓国では二階建ての家は珍しいので日本の家がとても不思議に思えました。

小学生の二人の子どもたちとは、一緒にカードゲームをして、おやつを食べ、おしゃべりをしたら親しくなり、私は童心に帰ったようで幸せでした。子どもたちは、とてもかわいかったです。

晩御飯はバーベキューです。家族も久しぶりのバーベキューだと言って嬉しそうでしたし、私も家でするなんてとても不思議で楽しみでした。韓国の一般家庭は、家でバーベキューをしません。

お父さんが肉を焼いてくれました。お母さんはおにぎりや野菜を用意してくれて、私と友人はお酒を飲みながら家族と楽しく晩御飯を食べました。晩御飯のあとは花火もしました。いろいろ準備をしてくれた家族の皆さんにとっても感謝です。

次の日、お父さんとお母さんは朝ごはんを作っていました。私たちも手伝い、一緒に食べま

した。枝豆もぎも手伝いました。

『どこか行きたいところはあるの?』と聞かれ、私は『新潟駅の周辺しか言ったことがないので、どこでもいいです。』と答えたら、温泉に連れて行ってくれました。足湯を経験して、家まで送ってくれました。

日本の家族の暖かさを感じた、とても幸せな週末でした。もし次の学期にもホームステイの募集をしたらまた申し込みます。

すてきな思い出を作ってくださった家族に本当に感謝します。



中国：趙 丹丹 (チョウ タンタン)

(訳文)

7月の週末、同じ中国からの交換留学生の後輩と一緒にホームステイに参加しました。

ホームステイは初めてだったので、少し緊張しましたが、後輩と同じホストファミリーだったので、楽しみでもありました。

お母さんとお姉さんが迎えに来てくれました。家族はほかに中2の妹さんとお父さんがいます。

私達はそのままスーパーに行き、夕食のメニューを考え、おいしいアイスクリームや飲み物もたくさん買いました。

家に着き、すぐ夕食の準備をしました。夕食は一緒にたこ焼きを作り、焼肉やいろいろな新潟の郷土料理も食べ、本当に幸せでした。家族は、8月に台湾旅行に行くとのことで、私は簡単な中国語を教えました。

夕食後、お母さん、お姉さん、妹さんと一緒に散歩がてら、ポケモンGOをしました。一年ぶりの家族との散歩はとても暖かくて、楽しかったです。

翌日、妹さんは部活のため、お母さんとお姉さんと一緒に弥彦神社と寺泊水族博物館に行き、可愛い小魚やペンギンを鑑賞しました。長岡の有名なラーメン屋さんにも連れて行ってくれました。最後に、お母さんは、私をバイト先まで送ってくれました。

二日間のホームステイはこうして終わりました。自分がこのようなどても愛のある家族と知り合えて本当に幸運だと思いました。

『お父さん、お母さんへ、

いつまでも健康でありますように…。』

『お姉さんへ、

希望の大学に受かりますように…。』

『妹さんへ、

ますますきれいになってください。』

これからも一緒に遊びましょう！



中国：杜 怡夢

私は、将来、日本で生活したいですから、去年10月に今の学校へ入学し、日本語を勉強しています。

今年はホームステイに参加しました。私は自信があまりなかったので、できるかどうかの心配と緊張で頭が痛くなりました。

対面式の会場には、たくさんの人が集まっていました。外国人留学生もいました。

受け入れ家庭は6人家族でした。子どもが4人います。一番小さい子どもは、小学5年生でした。日本語で日本の方と交流する能力が一番大切だと思います。

家族にはたくさんのきそくがありました。朝ご飯は、みんな起きる時間がちがうので、自分で食べなくてははいけません。帰宅がおそくなる時は、家に帰る前に電話をしなくてははいけません。

中国人と日本人の生活習慣が異なるのはたくさんありました。例えば、中国の食事は、大きなお皿で一緒に食べます。しかし、日本の食事は、中華料理以外の日本料理、西洋料理などは、人数を事前に決めておきます。一人一人のためのお皿を用意します。

日本人はラーメンが好きな人がたくさんいます。有名なラーメンの店へ行って1~2時間並んで食べる人もいます。私もラーメンが好きなので、みんなで一緒にラーメンを食べに行きま

した。ラーメンを食べる時に音を立ててすすするのは当たり前です。面白いので、私もしました。

日本ではラーメンを食べる時だけでなく、そば、うどん、そしてスパゲッティなども音を立ててすすするのは礼儀とされています。

習慣は中国より日本の方が、更に細かく決められているように思いました。これは礼儀などの面にあらわれています。

私は日本語が大好きです。まだまだですが、私は絶対に頑張ります。

今回のホームステイは家族の人、みんなが親切なので、とても楽しかったです。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ベトナム：ター カイン リン

こんにちは、私はターカインリンです。去年の10月に日本へ来て、10カ月ぐらい日本に住んでいます。

ホームステイに参加することになり、本当に嬉しいです。それに初めて日本人の家で過ごせて楽しかったです。

私が行ったのは、わかいご夫婦です。いっしょに参加したのは同じ学校の人だったので、ちよう楽しかったです。

ご家族に会ったとき、私はびっくりしました。ご夫婦がとても若かったからです。なんの話をしようかなとちゃんと考えました。でも、ご夫婦はとてもしんせつに、私に話しかけてくれ、やさしいひとたちでした。

今回は土曜日から日曜日まで、私たちはいろいろなところへ行きました。たとえば、弥彦山と弥彦神社、せんべいの店などです。楽しかったです。私は日本語がへただけで、できるだけ日本語で話しました。ちょっとたいへんでした。

夜ご飯は、私と友達がベトナム料理を作り、ご夫婦は日本の料理を作りました。それから、ご飯を食べながら、話をしました。おいしかったですよ。

家に帰った後で、私たちはLINEで話します。

LINEには、写真とビデオを送ります。

ホームステイがおわったら、日本語がだんだん話せるようになったと思います。本当にありがとうございました。

皆さん、ぜひホームステイに一回は参加してください。とても楽しかったですよ。

ありがとうございました。



ベトナム：ブイ ティ ヒエン

7月23日から24日まで、ホームステイに参加しました。とてもたのしかったです。

ホストファミリーは若い夫婦でした。とてもやさしかったです。いっしょにりょうりをつくって、おいしかったです。それから山にのぼったり、バーベキューをしたりしました。

1日目はせんべいをつくりました。せんべいははじめてつくって、とてもあつかったけどおもしろかったです。そうめんは、はじめて食べました。おいしかったです。2日目は弥彦山にはじめてのぼりました。ベトナムでは山にのぼったことはありません。弥彦山はとてもきれいでした。写真をたくさんとりました。日本人はとてもしんせつです。

ほんとうにありがとうございました。

来年、ホームステイがあったらぜひ参加したいです。



中国：霍 大莉 (カク ダイリ)

(訳文)

とても幸運なことにホームステイに参加することができ、この二日間は忘れられない、貴重な経験となりました。

先輩と一緒にお家に行きました。家族はお父さん、お母さん、大学生の息子さん2人の4人家族です。弟さんは東京の大学にいますので、残念ながら、今回会うことができませんでした。対面式の時、お父さんとお母さんが仕事のため、お兄さんが迎えに来てくれました。

お兄さんが好きなドリンクのお店と回転寿司に連れて行ってくださいました。ともに大学生の私たちは共通の話題がたくさん、また、お兄さんが以前、中国へ留学した経験があり、中国語も少し話すことができるので、時々中国語を混ぜたりして、とても楽しかったです。お兄さんの中国語の発音もとても上手でした。

家に着いて、お父さんとお母さんに会ってすぐ、親戚の家に来たようで、緊張もなくなりました。お母さんは親切に好きな食べ物や嫌いな食べ物を聞いてくれました。

当日は、町内の納涼会があり、お母さんはとてもきれいな浴衣を用意してくれ、うれしくて、写真をたくさん撮りました。初めての納涼会でしたが、みんながお弁当を持ってきて、とても賑やかでした。出店でかき氷やビールも売っています。私たちもお弁当をもらいました。お父さんはお菓子も持ってきてくれました。日本でとても人気のあるお菓子だそうです。私達もビールをいただきましたが、お父さんは本当にビールが好きで、5杯も飲みました。夜、花火もしました。夏の風物詩といえば、なんといっても花火ですね。

翌日、お母さんが小鉢料理、新鮮なサラダ、味噌汁、梅ジャムのヨーグルトなど朝食を用意してくれました。ヨーグルトはお母さん手作りの梅ジャムと蜂蜜をかけ、甘酸っぱくて、今でもあの味が忘れられません。

庭で食べながらいろいろなことを話しました。お母さんから漬物や干し梅の話を聞いて、手作りの野菜を食べ、本当に幸せだと思いました。日本に来て、最も心地のよい朝となりました。

朝食後、お父さんとお兄さんが運転して、弥彦山に行きました。以前弥彦山に来た時は、紅葉に満ちた秋でしたが、夏の弥彦も格別にきれいでした。その後、寺泊の鮮魚センター、お土産屋さん、工芸品店なども寄りました。午後、お兄さんが家まで送ってくれました。二日間、夢の中にいるようで、とても充実し、楽しかったです。

短い時間でしたが、別れる時は、悲しかった

です。もう少し早く出会えばよかったと思いました。たくさんの事を学び、経験し、実りのあるものとなり、ご家族の心のこもったおもてなしに感謝したいと思います。皆さんに会えて本当に幸運で幸せものでした。

ホームステイを通して、日本の家庭の暖かさに触れ、一年間の留學生活の思い出に新たな1ページが加わりました。



ベトナム：グエン ティ ホン ハ

週末、日本人の家に泊まりました。

初めてのホームステイでしたが、すごく楽しかった。

初日は晩ごはんベトナム料理を作りました。皆さんと家でたこやきを焼きながら食べることは面白かった。食べたあと、かるた、トランプ、花火をしました。いろいろな食事の習慣を勉強しました。

2日目は、午前中はカフェのジュニアバリスタスクールで、ラテアート体験しました。一緒に参加したお子さんは、何回も何回もクマを作って、3回目で、できました。私もアートを作りました。お昼はラーメンを食べました。

次に温泉へ行きました。私たちはたくさん話しました。私は日本人の温泉習慣を知りました。

皆さんから、いろいろな習慣を勉強しました。すごく有意義なことを得ました。

本当にありがとうございます。

中国：チンニシン

今回のホームステイは本当に楽しかったです。ご家族は、とても親切で、子どもたちが本当に可愛いです。

子どもたちと一緒に人生ゲームやオセロをやりました。お姉ちゃんは本当に強かったです。

夜はバーベキューをやりました。美味しかったです。その後、花火をしました。とても綺麗です。

2日目は一緒に弥彦神社に行きました。山にも登ったし、アイスも食べました。

午後本間さんと麻婆豆腐を作りました。ちょっと辛いですが、本間さんと奥さんが好きでよかったです。

帰るとき、記念としての写真をいただいて、本当に嬉しいです。

いろいろお世話になりました。もし機会があったら、ぜひ中国に遊びに行ったらいいね。

(▽)



初めてのホームステイの受け入れ体験

池田京子

私たち夫婦は、夫の定年退職後、毎年のように海外ツアーに出かけました。欧米やアフリカにまで足を延ばしましたが、夫の体力減退とともに遠方は無理となり、近隣諸国に関心を持つところとなりました。

今年は、台湾ツアーに出かけ、先日戻ってきたところです。

そんななか、新潟におけるホームステイの受け入れの案内を拝見し、初めて申し込みをしました。

海外ツアーで、子弟に接触する中で、その将来性を楽しみに思っていたところでもあり、自宅に居ながら交流できることは嬉しいことです。

さて、幸いなことに、希望がかなえられることとなり、東南アジアの女子留学生を紹介いただき、我が家で交流することになりました。

対面式には、週末に遊びに来る小学生の孫を連れて出かけ、お会いした直後から、和やかな雰囲気となりました。

アジアの人たちとは、ほとんど違和感がなく、ことに紹介いただいた女子留学生は、気立ての良さ・性格の良さが伝わってくるようであり、我儘な夫も一目で気に入ったようです。

そして、自宅に到着すると、自己紹介となりました。私からは、「日本のお母さんと呼んでくださいね」と伝えると嬉しそうであり、すっかり打ち解けてくれたようです。アイスクリームを食べながら、留学生の家族の話を聞かせてもらいました。

あれこれのお喋りをしているうちに夕方になり、隣接の畑で、夕食の野菜を収穫しました。ご本人は自炊をしているということで、一緒に野菜たっぷりのカレーを作り、夕食となりました。

翌日の朝食は、和食ということで、純日本食を食べていただきました。

昼食は一緒にピザ作り、畑からミニトマト・バジル・パプリカを収穫、米粉にイーストを合わせてこね、サラミやウィンナーとチーズをのせて飾りつけです。

また、家の中を案内した時に、私の手作りの小物が目に留まり、一緒に作りたいとのことで、庭のラベンダーを採ってスティックラベンダーを作り、ふうせんカズラを顔に見立てた猿9匹（苦難去る）を南天の木に並べたり、柿のハタで柿作りをしました。

私たちの住む秋葉区は花木の街、道の駅「花夢里にいつ」を案内して喜ばれました。

留学生は旅行が趣味と書かれてありましたが、足を延ばすほどの余裕がないほど時間の経過が早く、名残惜しくも、宿舎までお送りしました。

これから数年間を新潟大学で勉学なさるとのこと、時々、息抜きにお出かけ下さるのをお持ちしております。



伊藤 星良

我が家は主人、私、子ども二人の娘（小1、年少）の四人暮らしです。今回、留学生のためのホームステイを受け入れたのは、「英語を習っている小1の娘に実際に英語を話す機会を作りたい」という思いと、私達夫婦の「外国の人とプライベートで時間を共有できるなんて楽しそう」という思いからでした。

我が家にホームステイに来てくれたのは、インドネシア・バリ島出身の専門学校の留学生でした。対面するまでどんな人が我が家に来られるのだろうと楽しみな反面、正直不安もありました。しかし留学生に会った時、彼女のにこやかな表情を見て、「楽しい素敵な二日間が過ごせそう」と家族皆が思えて、いい状態でホームステイをスタートさせることができました。

〈初日〉ショッピングセンター・八百屋で夕食の買い物→夕食作り・夕食→花火

〈二日目〉映画鑑賞→昼食(ラーメン屋)→いくとぴあ食花・子ども創造センター・スーパーで買い物

どんなことを体験したいかと尋ねると一緒に料理をしたいとのことでしたので、夕食作りをしました。知らない食材や調味料がいくつもあったようでした。筑前煮は自分でも作ってみたいとレシピを持ち帰られました。留学生は、映画が大好きだけれども、日本では一度も映画館に行ったことがないとのことでしたので、映画館にお連れしました。いくとぴあ食花を案内したところ、初めての訪問だったようで、館内の展示物（花や食品サンプル）をととても興味深そうに見学されていました。

あっという間の二日間でした。二人の娘はとてもなついていました。常に優しい表情で接してくれて娘たちは彼女のことが大好きになりま

した。

留学生は頻りに写真を撮っていました。ひとつひとつの場面を思い出に残してくれている姿を見ることが出来て嬉しかったです。

日本語が堪能でコミュニケーションを十分にとることができました。留学生を迎えるにあたり、コミュニケーションが上手くとれないことをイメージしていたので拍子抜けしましたが、ホームステイ初体験の我が家に来てくれたのが彼女で本当に良かったです。

我が家での二日間が、日本での楽しい思い出になったのであれば幸いです。私達家族にとってはとても貴重な体験ができた素敵な二日間でした。ありがとうございました。



留学生を受け入れて

木下内 智子

以前から興味があった、留学生の受け入れ、子どもが大きくなり、日程も都合良かったので今回、初めて参加しました。

我が家に来たのは、ベトナムからの留学生。家族みんな、対面式を楽しみにしていました。少し緊張していた私たちと留学生、少しずつ打ち解けて、楽しい時間を過ごせたと思います。

初日は、夕食の買い出し、夜は私たちの都合でバレーボールをしに出かけ、二日目は、弥彦山へドライブ。連れまわしたような形になり、疲れてしまったのではないかと、反省しています。

一番印象に残っているのは、子どもたちと折り紙や切り紙を楽しんでいたことです。そんな時間や一緒にごはんを作ったり、家で過ごす時間をもっと持てばよかったなあとと思います。ついお客様扱いしてしまい、手持ちぶさたな時間もあったのではないかなとも思っています。

アンさんが少しでも日本の良さを感じたり、良い時間を過ごせたと思ってくださると嬉しいです。

私たち家族は、素敵な時間を過ごせました。ありがとうございました。

ホームステイを通じて

後藤 美希子

私は今回初めてこのような企画に応募しました。私自身、日頃から国際交流に興味があり、また、家の中で過ごす時間が多い私の祖父母に少しでもいい刺激になってほしいと思ったのがきっかけで参加しました。

私の家には、ベトナムの方が来てくれました。年齢も近いとあって、すぐに打ち解け、話がはずみました。日本とベトナムの生活のことや彼女の将来のこと、今の勉強のこと、そして音楽の趣味が同じだったことなど話しました。夜は、ベトナムの国の料理を一緒に作りました。「チャー」という料理で、野菜や肉をまぜたものをはるまきで巻き、揚げます。とてもおいしかったし、家族全員に大好評でした。

その日の夜は、私の妹と3人で韓国美容パックをしました。「ベトナム人と日本人が、日本にいながら、韓国のパックをしているね。」と、3人で笑いました。

次の日、留学生と母と祖母と私の4人で海に行き、シタダミという貝を3~4個拾いに行きました。彼女はとても楽しんでいました。その後、2人でマリニピア日本海に行きました。時間の順番通りに、エサやりショーを見ることができて、ほとんど見て回ることができました。彼女にとっては、初めて見る動物も多く、とても興奮していました。特に、イルカショーは迫力があり、見応えがありました。とてもいい体験になったと思います。

このホームステイ受け入れの経験は私にとって、私の家族にとっても、とても忘れられない思い出になりました。1泊2日という短い時間ではありましたが、ベトナムという国の言葉や人、日本の食、生活、文化がお互いに大変貴重な知識、知恵になったと思います。一緒に共有できた時間は、とても楽しかったし、またぜひ過ごしてみたいです。

ホームステイ受入れの感想

佐々木 愛

「不安しかない」・・・受け入れを決めてからずっとこの気持ちが変わらなかったパパ。終えてみれば、「緊張なく普通に過ごせて楽しかった！！」と変化がありました。

子どもたちはたくさん遊んでもらって大喜び。私はまだまだ滞在してもらっても良かったなあもっと一緒にいたいなあと思いました。

そんな気持ちにしてくれたのは我が家に来てくれた台湾からの留学生。

初日はプチ観光

牛見学とジェラート→安田瓦ロード散策→瓢湖にてカモに餌やり→足湯→川上豆腐

翌日は普段の日曜日を過ごしました。

大江山の朝市、イオンぶらり、家でトランプやかくれんぼで遊ぶ

二日間特別なこともせず ごちそうを食べるでもなく←ゴメンナサイ
我が家の日常を本当の家族のように一緒に過ごしました。

話していて台湾と日本は食文化がとてもよく似ているんだなと思いました。するめ、カレーライス、刺身、寿司、カルピス、野菜もほぼ一緒。でも、甘酒やたらのご、筋子は今回が初だったようです。お口に合ったようで良かったです。

留学生の家は台湾でも南に位置しているようでフルーツが豊富とのこと。

食文化が似ていて、さらにフルーツが安くて美味しい、スイーツも絶品な台湾の地に私も行ってみたいになりました。

失礼ながら台湾の知識が全くなかったのですがキカちゃんのお陰でとても身近になり、あれこれ調べるようになりました。

来年の2月まで新潟にいるとのこと。幸いにも？新潟の冬を体験してからの帰国ですね。

雪の話になるとワクワクして可愛かったです。体に気を付けて頑張って夢を叶えて欲しいです。応援しています。



楽しかったホームステイ

佐藤 文

昨年に引き続き、今年もホームステイを経験させていただきました。昨年は、私から提案しましたが、今年の中2の息子から、また夏休みにホームステイの受け入れ家庭をやりたいと熱望してきました。

今年、韓国人の男性が来てくれました。とても優しい笑顔のステキな20才の男の子。

1日目は、家に着いたら中2の息子と遊んでくれて、息子も大喜び！

夜は、近所の小学校で盆踊り大会があったので、息子と一緒にの甚平を来てお出かけしました。盆踊り大会が終わり帰宅すると、ホームパーティー！友人が集まり、各家庭で料理を持ち寄り、お酒を飲みながら、おいしい料理を食べ、韓国の話を聞いたり日本の話をしたり、ずっと笑っぱなしの楽しい時間を共に過ごしました。彼も、日本の女の人は面白いですね！と、言ってくれました。

2日目は、息子のサッカーの試合があり、一緒に試合観戦をして、ご飯を食べに行きました。あっという間に時間が過ぎ、帰宅時間となり家まで送っていき、ホームステイ終了。

と、ここで終わりではないのです！

新潟まつりの最終日、花火と一緒に見ようね！と、約束をしていたので、また会うことが出来たのです。花火の日は、彼の大好きなタコ焼きの用意をしておいたので、タコ焼きを焼いてもらい、花火に持っていきました。タコ焼き器を買って帰ろうかなあと、言ってくれるくらい楽しかったようでとても嬉しくなりました。それに、その日は韓国料理を作って持ってきてくれたのです。4品も！きっと作るの大変だったろうなあと思いました。どれも美味しく、彼の優しい気持ちに嬉しくなりました。彼が来てくれて、本当に楽しかったです。

大好きだよー♡ ありがとう！！



初めての留学生の受け入れ

関川 絃子

今回、初めて、留学生の受け入れを体験させていただきました。娘に異文化交流の機会をつくってあげたいと思ったこと、海外の食事について、自分自身が知りたいと思ったことがきっかけです。

事前に連絡を取り合っていたものの、ドキドキ・ちょっぴり不安に感じながら出席した対面式。しかし、その心配はすぐに吹き飛びました。会ってみると、とても素敵な女性であることが分かりました。

対面式後、まずは夕食の買い物にスーパーに向かいました。ベトナム料理を作ってほしいとお願いしたところ、快く彼女が作ってくれるというので、春巻き材料などを買いました。

その後、娘のスイミングスクールの迎えと一緒にいき、そこで娘との初対面です。娘は人見知りのため、自分から話をするのがほとんどなかったのですが、彼女の方が話しかけてくれたため、少しずつ和んでいったことを思い出します。

自宅に着き、夕食の準備です。楽しく食事をしたと考え、「たこ焼き」を一緒に作ることにしました。せっかくなので、新潟の郷土料理「のっぺ」も用意しました。彼女の方は、ベトナム料理「ネン（春巻き）」を作ってくれました。食卓にたくさんの食事が並び、「楽しいね」と言いながら、食事の時間を過ごすことができました。その後、花火をしたり、トランプをしたりして、さらに楽しい夜を過ごすことができました。

次の日は、娘のバリストスクールのため、カフェに向かいました。娘だけの予定が、付き添いの家族もラテアート体験をすることができました。彼女の作ったラテアートの独創的なこと。モノ作りの楽しさを満喫しました。

今回のホームステイのメインは温泉です。バリストスクールの後、西蒲区にある「だいろの湯」に向かいました。3本の源泉のある温泉で、みんなで順番に温泉につかりました。長風呂しながら、ベトナムの家族のこと、文化のこと、

彼女の将来の夢など、たくさん話をしました。ベトナムについての知識が、娘にも私にも深まったと思っています。

別れがたいなと思っていましたが、ここで受け入れは終了です。彼女の心遣いで、お土産をたくさんいただきました。この1泊2日で、彼女の気遣い、配慮などをたくさん感じる事ができました。娘ともたくさん関わってくれました。おかげで、私たち家族にとって、いい思い出になりました。また、機会があれば、お会いしたいと思います。



ホームステイの思い出

西沢 愛美

キレイな人だなあ。私は、はじめて会ったとき一番先にそう思った。7月23日夏休み。ピアノのレッスンが終わり、いよいよ初対面のときがきた。「オカエリナサイー。」中から声がきこえて、入るとやさしそうな女の人が2人いた。もっとかわいい人だと思っていたのにしずかな人でびっくりした。韓国の人だった。今回のホームステイでおどろいたことは2つある。1つはなんでもキムチでまくということだ。一日目に家でバーベキューをしたときに口に合うかなと思いキムチをだしてみた。すると、肉も野菜もなんでもキムチをまいて食べていた。私はキムチを食べたことがないのでそんなにおいしいのかな?と思った。二つ目は意外にお酒に強いということだ。またしてもバーベキューの際、母が買って来た梅酒(十四度)を二人でびんの中身が三分の一になるまで飲んでた。聞くと韓国では二十度以上のお酒でもそのまま飲むのが主流だそう。それで、もう胃が慣れてるのかと思った。

やはり自分とちがう国の人と交流するのはとても楽しい。来年もホームステイをしたいと思いつつ、さよならを言った。



日中交流

丸山 乃野

今回で四度目となる留学生の受け入れになりました。他国の文化を学べるので、毎年楽しみにしています。

今回は中国の方二人でした。会って早々いつ日本に来たのかと聞いてみると、今年の四月とのこと。びっくりしました。本当に日本語が上手でした。

家に着いたらお菓子タイムでアイスを食べたりジュースを飲んだりしながら女子会をしました。今見ているドラマや昔のドラマ、好きな作家さんの話で盛り上がりました。

そしてその日の夕飯はタコ焼きでした。共同作業だったのでそこで距離がぐんと近づいたと思います。

夕飯を食べながら中国語について学びました。私は今高校で漢文をやっているのですがその文を読んでもらい、直接聞くネイティブの発音に圧倒されました。そして「おいしい」や「いくらですか?」などちょっとした会話で使えるような中国語も教えてもらいました。発音が難しくてもたくさん聞き直したのにも関わらず、嫌な顔ひとつもせず何度も何度も教えてくれました。さっそく学校でも使ってみようと思います。

その後やすらぎ堤を歩き、夜の新潟の景色を楽しみました。

二日目はパワースポットである弥彦神社に行きました。この日はとても暑くて大変でしたが、神社は木が生い茂っているため少し暑さをしのげました。それから寺泊水族館に行き、お昼はラーメンこまどりに行きました。これが二日目の内容です。

短い間でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

新聞やテレビで見る中国の話はマナーや政治的な面であまりよくないことがあります。たしかにその部分はあるかもしれませんが、果たして全員がそうなのでしょうか?実は去年来た留学生も中国の方でした。去年も今年も本当にいい人たちだし、日本人は中国人に対して偏見が

あると思います。私も正直に言って、少し前までは中国に対して良いイメージがなかったです。しかし話を聞くと良いところもたくさんあって、今では自分の目でどんなところか知りたいと思えたし次に行きたい国は中国です。これは留学生の受け入れをしたから思えることです。中国に限らず、もっと多くの方がホストファミリーとして留学生を受け入れ、異文化に触れることが大事だと思います。



留学生を受け入れてみて

吉田 光幸

ホームステイの受け入れは、今回で3回目となります。今までの2回は中国の女性、両方とも女性の2人組でした。今回は韓国、それも男性とあって正直多少のとまどいがありました。

ところがふたを開けてみれば、2人とも素晴らしい男性でした。非常に熱心で、日本の事を深く知りたいという気持ちがひしひしと伝わってきました。

私はラーメン店を営んでいるので、日本の食文化の話をしたり、逆に私の方から韓国の食文化等についても聞かせてもらったりしました。実は当店の女性店長が大の韓国ファンで、発音もとても上手で留学生の2人がびっくりしておりました。

初日はまず、店に着いて荷物を置いたら、すぐに岩室の日帰り温泉に3人で行きました。そこで男同士裸と裸の付き合いでもないですが、心がすぐに打ち解けた気がします。

店が終わってから私の方も知り合いを呼んで、4人で食事を楽しみました。おそらくキムチとか焼肉は本場で食べなれていると思い、刺身を含めた日本料理を中心にお出ししました。韓国でも刺身があるとのこと、ただしわさびではなくコチュジャンに酢を入れたもので食べるそうです。さっそくコチュジャンと酢を持ってきて食べてみました。初めての体験でしたが、なんとそれがおいしいこと！

こうやって楽しい時間があっという間に流れていきました。

2人のこれからの活躍を祈らずにはいられないと切に感じました。

